

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	特異的な臍帯動脈血流波形を呈する症例の流体力学的シミュレーション分析
研究責任者	聖隷浜松病院産婦人科 精きぐな
研究実施体制	主研究施設：聖隷浜松病院産婦人科 副研究施設：浜松医科大学光医学総合研究所生体計測工学分野
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2026 年 3 月 31 日
対象者	聖隷浜松病院産科の外来に通院しておいでの方、入院した方
研究の意義・目的	赤ちゃんの臍の緒の血管は、赤ちゃんの元気度をはかるために、超音波で血流計測を行う対象の一つです。分娩や、臍帯巻絡(臍の緒が赤ちゃんの体に巻き付いている状態)によって臍の緒が強く引っ張られると、その血管の中の血液の流れが変化し、赤ちゃんの具合が悪くなる原因となることがあります。 そうした血液の流れの変化を観察し、臍帯がどのように引っ張られると血液にどのような流れの変化が表れるのかを解明するための研究です。
研究の方法	妊娠中または分娩中、臍帯が引っ張られていると思われる所見があった場合、超音波検査を行います。その過程で得られた超音波画像と、分娩後の赤ちゃんの状態・血液検査を使用します。 パルスドプラーと呼ばれる超音波画像を数理的シミュレーション分析にかけ、赤ちゃんの状態を推定します。また、赤ちゃんが生まれた時の状態や体重、血液検査の結果と照らし合わせ、どのようなことが起こったら血液の流れに異常が現れるのかを解析します。 超音波画像と赤ちゃんの情報の一部を部外の専門家に分析依頼をします。 超音波の画像には皆様の診療 ID(氏名は非表示)が表示されていますが、個人情報保護の観点から、画像を取り出す際には ID を消し、研究に使用する番号を付与して使用するため、皆様の個人情報が特定される心配はありません。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 産婦人科科 (氏名)精 きぐな TEL:053-474-2222(代表) 産科外来 9:00～17:00 平日